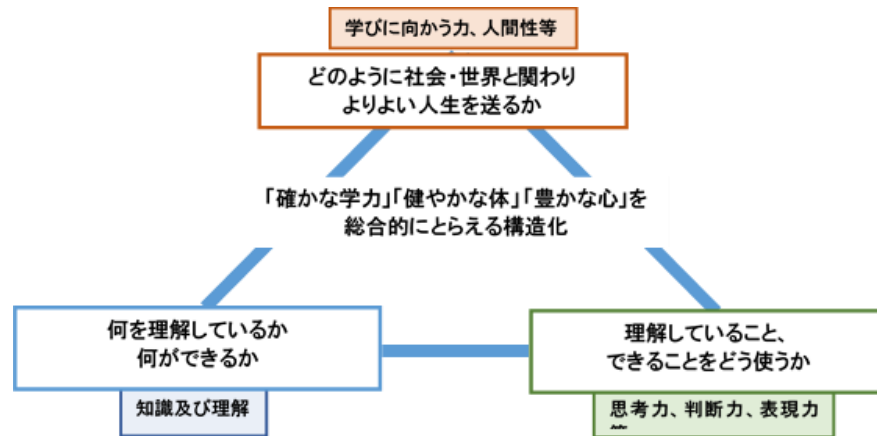


美術 I 観点別評価規準例 資料

三つの柱

学習指導要領の改訂では、学習したことで「何ができるようになったのか」という視点から、全教科等の目標や内容が、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理された。教育課程で育む資質・能力を三つの要素に整理したもので、三つの柱に基づいて科目の目標が示されている。



知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等が、「①知識及び技能」、「②思考力、判断力、表現力等」、「③学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で再整理された。3つの柱は、以下のように言い換えることができる。

- ①知識及び技能……何を理解しているか、何ができるか
- ②思考力、判断力、表現力等……理解していること、できることをどう使うか
- ③学びに向かう力、人間性等……どのように社会や世界と関わり、よりよ

い人生を送るか

科目ごとに習得した「知識及び技能」を「思考力、判断力、表現力等」で使いこなして、学んだことを社会や生活に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」を育むというサイクルになっている。

芸術科「美術」が目指す資質・能力

美術で育む資質・能力を捉える上で、キーワードとなるのが「造形的な見方・考え方」である。「造形的な見方・考え方」は、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や活をつくり出すこととされている。造形的な視点とは、形や色、材料や光などといった造形の要素に着目し、それらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点を指す。つまり、造形的な視点を基に施行することが「造形的な見方・考え方」と言える。

三つの柱で示す「美術」の目標

「(1) 知識及び技能」において、知識は造形的な視点を豊かにするための知識であり、技能は表現における創造的な技能に結びついている。

「(2) 思考力、判断力、表現力等」が指し示すものは、表現における発想や構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った見方や感じ方となっている。「(3) 学びに向かう力、人間性等」はいわゆる関心、意欲、態度のことで、学習に主体的に取り組む態度や美術を愛好する心情、豊かな感性や情操などに関するものを示している。

「美術」の目標と内容構成

<美術 I の目標>

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意

図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

目標は内容の各項目と個別に関連している。「(1) 知識及び技能」の知識は新設の〔共通事項〕に関連し、技能はA表現の各分野の括弧無しのアに関連している。「(2) 思考力、判断力、表現力等」はA表現とB鑑賞の双方に関連付けがあり、A表現では各分野の括弧無しのア、B鑑賞では項目全体に関連付いている。これは、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を豊かに育むためには、表現の発想や構想と鑑賞に関する資質・能力を相互に関連して働かせて学習を進めることが大切だからである。「(3) 学びに向かう力、人間性等」は授業全体に関連付けて育成するように位置付けられており、A表現、B鑑賞及び〔共通事項〕を指導する中で、一体的、総合的に育てていくものとなっている。

○「美術Ⅰ」の目標と指導内容の関連

| 領域等 | 項目 | 指導内容 | 目標との関連 |
|------|--------------|-----------------------------|----------------|
| A 表現 | (1) 絵画・彫刻 | ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想 | 「思考力、判断力、表現力等」 |
| | | イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能 | 「技能」 |
| | (2) デザイン | ア 目的や機能などを考えた発想や構想 | 「思考力、判断力、表現力等」 |
| | | イ 発想や構想をしたことを基に創造 | 「技能」 |

| | | | |
|--------|-----------------|-----------------------------|----------------|
| | (3) 映像メディア表現 | 的に表す技能 | |
| | | ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想 | 「思考力、判断力、表現力等」 |
| B 鑑賞 | (1) 鑑賞 | イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能 | 「技能」 |
| | | ア 美術作品などに関する鑑賞 | 「思考力、判断力、表現力等」 |
| 〔共通事項〕 | | イ 美術の働きや美術文化に関する鑑賞 | |
| | | ア 造形の要素の働きの理解 | 「知識」 |
| | | イ 全体のイメージや作風、様式などで捉えることへの理解 | |

〔共通事項〕について

新たに設定された〔共通事項〕は、表現と鑑賞のどちらの学習にも必要となる造形的な視点に関する指導事項を示したものである。

造形的な視点について理解を深めることが、美術における知識の習得に繋がる。〔共通事項〕は、その造形的な視点を豊かにするために必要な知識として位置付けられている。ここでの知識とは、単に美術史の流れで登場する人物名や作品名を覚えたり、色相環の並びを暗記したりするというのではなく、あくまでも形や色などといった造形の要素が何らかの効果を持って働くことを理解し、それを創造的に活用したり、鑑賞の切り口として捉えたりすることで発揮されるものである。

〔共通事項〕の「共通」とは、発想や構想、技能、鑑賞に関する資質・能力に共通して働くという意味で、A表現とB鑑賞の学習、それぞれに必要な資質・能力を育成することを示したものである。そのため、〔共通事項〕はそれのみで取り上げて題材にするものではなく、A表現とB鑑賞の双方の学習を通して指導すること、と記されている。今後は、〔共通事項〕に示される資質・能力を理解し、表現と鑑賞の学習の相互の関連をより強く意識した指導が求められる。

学習評価について

学習評価については、指導したことを評価し、評価したことを指導に生かしていく「指導と評価の一体化」が強調されている。このことから、目標の三つの柱と対応して学習評価の観点も3観点で整理された。

<美術 I の評価の観点の趣旨 >

美術の特性に応じた評価の観点及びその趣旨を、以下の表に示す。

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|---|---|
| 趣旨 | ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 |

(参考) 各科目の特性に応じた評価の観点の趣旨。

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|--|----------------------------|
| 美術 I | ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 |

| | | | |
|--------|---|--|----------------------------|
| 美術 II | ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 |
| 美術 III | ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表わしている。 | 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 |

<4観点から3観点に>

観点別学習状況の評価の観点もこれまでの4観点から、「知識・理解」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。特に留意したいのは、「知識」が今回の改訂で新設された〔共通事項〕と対応していることである。

また、現行の4観点では、「知識・理解」と整理している第4観点を美術科では「鑑賞の能力」と位置付けている。一方、今回の改訂では「A表現」及び「B鑑賞」相互の関連を図り、特に発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにする事が求められている。

■「知識・技能」の評価

○個別の知識及び技能の習得状況について評価する。

○それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

※美術では：「知識」は〔共通事項〕で示されたことが理解できているか。「技能」はこれまで同様に創造的に表す技能。

■「思考・判断・表現」の評価

○知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

※美術では：「A 表現」の発想や構想を通して育成する力と、「B 鑑賞」の鑑賞

を通して育成する力で構成される。

■「主体的に学習に取り組む態度」の評価

○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

※美術では：美術の創造活動の喜びを味わいながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」を身に付ける学習活動に主体的に取り組もうとする態度を評価する。

4 観点（平成 22 年）の評価の観点の趣旨

| 美術への関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
|---|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。 | 美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 |

3 観点（平成 31 年）の評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 |
| ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 | | |

※旧 4 観点と新 3 観点がどのように対応しているのかを矢印で示した。

4 観点の「美術への関心・意欲・態度」は、3 観点の「主体的に学習に取り組む態度」に対応。

4 観点の「発想や構想の能力」は、3 観点の「思考・判断・表現」の前半部分に対応。

4 観点の「創造的な技能」は、3 観点の「知識・技能」の技能に対応。

4 観点の「鑑賞の能力」は、3 観点の「思考・判断・表現」に対応。

3 観点の「知識・技能」の「知識」は、〔共通事項〕に対応。

<学びの目標から評価規準を作成する>

例：『高校生の美術1』（美I-702） p18～21「人物を描く」 課題：自分を見つめて描こう

指導計画を作成するに当たり、まず、目標の設定が必要となる。指導と評価の一体化により目標と評価は表裏一体であり、多くの場合、目標の文末の「～する」を「～している」とすることで評価規準となる。

学びの目標

| 「知識・技能」 | 「思考・判断・表現」 | 「学びに向かう力、人間性等」 |
|---|--|--------------------------------|
| 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。 | 人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 | 自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組む。 |

知識は〔共通事項〕と題材の内容、技能は私用する材料や用具（この課題では絵の具）などに対応させてより具体的に記述する。

教科書では様々な人物画の指導に対応しているが、この課題（自画像）をとおして学ぶ内容に絞って整理する。

課題で設定した、知識・技能の獲得や思考力・判断力・表現力を身に付けるために、主体的に取り組もうとしているかを評価する。

評価規準例

| 「知識・技能」 | 「思考・判断・表現」 | 「学びに向かう力、人間性等」 |
|--|--|---|
| 「知」 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 | 「発」 自己を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 | 「態表」 自己の内面を探り、感じ取ったことや考えたことなどを基にした人物画を描く表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。 |
| 「技」 目的や意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表わしている。 | 「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 | 「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい人物の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。 |

※表内で用いている略号

「知」 = 「知識・技能」の知識に関する評価規準 「技」 = 「知識・技能」の技能に関する評価規準

「発」 = 「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準 「鑑」 = 「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

「態表」 = 表現における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準 「態鑑」 = 鑑賞における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

『高校生の美術1』（美I-702） 題材の目標と評価規準（例）

- ・本資料では3観点の評価規準例をすべての内容について示していますが、毎回の授業ですべての観点を評価する必要はなく、授業展開に応じて必要な観点を選択・アレンジして使用してください。
- ・本資料は制作中のものであり、今後改訂する可能性があります。
- ・表内で用いている略号は以下となります。
 - 「知」＝「知識・技能」の知識に関する評価規準
 - 「技」＝「知識・技能」の技能に関する評価規準
 - 「発」＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準
 - 「鑑」＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準
 - 「態表」＝表現における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準
 - 「態鑑」＝鑑賞における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準
 - 「知・技」＝「知識・技能」に関する評価規準

教科書p 2~5 オリエンテーション 美術とは何か／見る 感じ取る 考える 表す

| 目標 |
|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 造形の要素の働きを理解し、絵画における造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などを自分なりに捉えることを理解する。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 絵画の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組む。</p> |

教科書 p 6～9 表現・鑑賞／絵画 身近なものを描く

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近なものの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて絵の具などの特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫して表している。</p> | <p>「発」 身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい身近なものの特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 10～11 表現・鑑賞／絵画 植物を描く

| 目標 | | |
|---|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 形や構造、色彩の効果、植物の生命力や全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 植物の印象などを基に、視点や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 植物の生命力などを絵画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 植物の形体や構造、質感、色彩などの性質や造形的な特徴、感情にもたらす効果などを基に、生命力などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 植物の美しさや特徴などを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や構造、質感、色彩などを考え、創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 対象の植物などを見つめ、その美しさや生命感、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 作品に表された植物などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 12～13 鑑賞／絵画 視点と表し方

| 目標 | | |
|---|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞する。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 作者の視点に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 多視点による表現効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 多視点で表現された作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> | <p>「態鑑」 美術や美術文化と豊かに関わり、多視点で表現された作品の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 14～17 表現・鑑賞／絵画 私の見付けた風景

| 目標 | | |
|--|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 風景の中の色や形などを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景画の見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 風景から感じ取ったよさや美しさ、不思議さや面白さなど、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 18～21 表現・鑑賞／絵画 人物を描く

| 目標 | | |
|--|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 自己や他者の内面を人物画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 目的や意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 自己を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 自己の内面を探り、感じ取ったことや考えたことなどを基にした人物画を描く表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい人物の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 22～23 鑑賞／絵画 光を捉える

| 目標 | | |
|---|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 光や陰影の効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 光の効果によるよさや美しさ、表現の特質、作者の意図と創造的な工夫について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 光と陰影による表現のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 光や陰影の効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 光の効果によるよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態鑑」 光や陰影を生かした絵画鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 24～25 表現・鑑賞／絵画 想像を形に

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 具体物や抽象的なものの組み合わせ、構図や色彩などの効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 想像や空想したイメージなどを基に、形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 空想や夢などから、心の中の世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩、構図などの性質やそれらが感情にもたらす効果、具体物や抽象的なものの組み合わせなど造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 想像や空想したイメージや夢などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、配置、組み合わせなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 空想や夢などを基に、心の中の世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい夢や空想の世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 26～31 鑑賞／絵画 日本美術

| 目標 | | |
|--|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 金雲や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 金雲や空間の効果、構図、色彩などを基に、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさを感じ取り、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> | <p>「態鑑」 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 32～37 鑑賞／絵画 浮世絵版画の魅力

| 目標 | | |
|---|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 構図や色彩などの効果、版画の技術などに着目し、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 浮世絵版画の発展の歴史や、作品のよさや美しさ、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 浮世絵版画の歴史、作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 構図や色彩などの効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 浮世絵版画のよさや美しさ、美意識や創造性などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深める。</p> | <p>「態鑑」 美術や美術文化と豊かに関わり、浮世絵版画の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 38～39 表現・鑑賞／絵画 版で表す

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 版画の表現のよさや特性を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 版による表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 版による表現の効果や版画の技法や材料、用具の特性を理解し、意図に応じて創意工夫し、主題を追求して表すことを理解している。</p> <p>「技」 線や面などの版による表現の特性や効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 版画表現の特性を生かして主題を生成し、形体や構成、版の形式による効果などを考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 版の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫との関連などを考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 版の特性を生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 版による表現の特性と作者の意図と工夫との関連を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 40～41 表現・鑑賞／絵画 墨表現の可能性

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 墨の濃淡、にじみやかすれなどの効果を理解し、墨によりつくりだされるイメージを捉え、意図に応じて墨の特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 墨による表現の特性やイメージを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 墨による表現の特性を生かして絵画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 墨の濃淡、にじみやかすれなどの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて墨や筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 対象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、墨による表現の特性を生かし、形体や濃淡、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 墨による表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、水墨画の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」・「態鑑」 墨による表現と鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 42～43 表現・鑑賞／絵画 漫画の表現

| 目標 | | |
|---|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 コマ割りや構図、効果線や擬声語などの効果、全体のイメージや作風などを捉え、ペンや筆などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 場面のイメージ、感情や動き、時間の表現などを基に、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 漫画表現のよさを生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 コマ割りや構図、効果線や擬声語などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて、ペンや筆などの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 主題に合わせた場面のイメージ、感情や動き、時間の表現などを基に、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 漫画表現のよさを生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 44～45 表現・鑑賞／絵画 視覚のトリックを生かして

| 目標 | | |
|---|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉え、意図に応じて絵具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 不思議な世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて、モチーフと風景の関係を考えながら、位置や角度などを創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 錯視やイメージの重なりなどを基に、主題を生成し、形体や色彩、配置、組み合わせなど、不思議な世界をつくりだす表現の効果などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 46～52 鑑賞／絵画・彫刻 大きさを意識して

| 目標 | | |
|---|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 作品の大きさによる表現効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 作品の大きさがもたらす効果、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> | <p>「態鑑」 作品の大きさから感じる効果を考え、鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

| 目標 | | |
|--|---|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 レオナルドの作品のよさや美しさ、ルネサンスの表現の特質、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 レオナルドの作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 構図や表情、色彩の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 レオナルドの作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、ルネサンスの表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態鑑」 美術や美術文化と豊かに関わり、レオナルドの作品の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、粘土などの材料の特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 表情や動きを捉えて粘土で表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて、粘土などの材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 塑造の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、塑造で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 塑造による表現の特性、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 60～61 表現・鑑賞／彫刻 彫って表す

| 目標 | | |
|--|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、木や石などの材料の特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 表情や動きを捉えて彫像に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて、木や石などの材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 彫造の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、彫造で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、彫造による表現の特性、作者の表現の意図と工夫を考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 62～63 表現・鑑賞／彫刻 抽象彫刻で表す

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 感情やイメージなどを象徴する形を考え、抽象彫刻に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて、材料や用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的なよさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 抽象彫刻のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から考えたりした形を基に、立体で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、抽象彫刻による表現の特性、作者の表現意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 64～65 表現・鑑賞／彫刻 身近な素材と立体表現

| 目標 | | |
|--|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 形や色、質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージなどを捉え、素材の特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 使う素材を理解し、立体に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 重心やバランス、動勢などを生かして、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて、素材や材料、用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> | <p>「発」 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、主体的に主題を生成し、形や色、質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的なよさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 素材を生かした立体表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 身近にある素材を加工したり組み合わせたりして、立体で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、身近な素材による表現の特性、作者の表現意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 66～67 鑑賞／彫刻 折りの形

| 目標 | | |
|---|---|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 顔や手の表情、形や素材、空間などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 仏像彫刻のよさや美しさ、表現の特質、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 仏像彫刻のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 顔や手の表情、形や素材、空間などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、仏像彫刻の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態鑑」 美術や美術文化と豊かに関わり、仏像彫刻の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 68~71 オリエンテーション/デザイン デザインの世界/私の考えるデザイン

| 目標 |
|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 造形の要素の働きを理解し、デザインされたものの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 デザインの鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 72~75 表現・鑑賞/デザイン ポスターで伝える

| 目標 | | |
|--|---|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝えたいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝えたいことや場面を、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて表現方法を工夫し、アクリルガッシュなどの技法や特性を生かし、計画的に見通しをもって表している。</p> | <p>「発」 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を生成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。</p> <p>「鑑」 ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 伝えたいメッセージや場面などを効果的にポスターに表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 ポスターのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 76～77 表現・鑑賞/デザイン サインのデザイン

| 目標 | | |
|--|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 伝えたい内容をマークやピクトグラムで効果的に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 伝達の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。</p> | <p>「発」 伝達する内容や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 見やすさや美しさの調和を感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 伝達する内容や目的をマークやピクトグラムで表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 マークやピクトグラムのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 78～79 鑑賞/デザイン イラストレーションの魅力

| 目標 | | |
|--|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 イラストや写真、文字などの形や色、構成などの効果、伝えたいイメージなどを捉え、絵の具の特性やパソコンの機能を生かして、目的や意図に基づいて表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 伝えたい本の内容などを基に、イラストレーションによる伝達の効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 イラストレーションを生かした本の表紙をデザインする創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形体や色彩などの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、配置や画材の工夫など造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて描画材などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表わしている。</p> | <p>「発」 感じ取ったことや考えたことなどを基に、イラストレーションのよさや美しさ、伝えたい内容を表すための表現の工夫を考えて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、伝えるための創造的な表現の工夫を捉えるなどして見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 画材や表現方法などを工夫してイラストレーションで表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 イラストレーションによる表現の特性や作者の意図と工夫との関連を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 80～81 表現・鑑賞/デザイン キャラクターのデザイン

| 目標 | | |
|--|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝えたい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、キャラクターのポーズや持ち物など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながらアクリルガッシュなどの特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。</p> | <p>「発」 情報を伝えるために、伝える相手や使われる場面などのイメージから主題を生成し、キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などが感情にもたらす効果や伝達効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 主題を生み出し、キャラクターの伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 82～83 表現・鑑賞/デザイン 生活を彩る模様

| 目標 | | |
|--|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、計画を基に表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果を考え、模様の構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 自然物の特徴などを生かして模様をデザインする創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩、構成の効果などが感情にもたらす効果や、用いる人や場面、目的や条件、機能や用途などを考え、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら形や色彩、構成の効果を生かし、見通しをもって創造的に表している。</p> | <p>「発」 用いる人の心情や使用する場面などで求められる効果や機能などから主題を生成し、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 模様のもつ機能や用途を生かすための形や色彩、構成の特徴や美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 主題を生み出し、模様のもつ機能や用途などを考え、構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 模様のもつ目的や機能、美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫について考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 84～85 表現・鑑賞/デザイン パッケージのデザイン

| 目標 | | |
|---|---|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 目的や条件、美しさや使いやすさ、入れるもののイメージなどを基に、形や色彩などの効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 パッケージをデザインする創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩、質感などの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら段ボールなど材料の特性を生かし、見通しをもって創造的に表している。</p> | <p>「発」 目的や条件、中に入れるものや使われる場などのイメージから主題を生成し、形や色彩、質感などが感情にもたらす効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 パッケージの使いやすさや洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 主題を生み出し、使いやすさなどを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 パッケージの使いやすさや洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 86～87 表現・鑑賞/デザイン 暮らしの中の使うデザイン

| 目標 | | |
|---|---|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 使う人や場面、デザインの目的や条件、機能や用途、美しさなどを考えて表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 使う人の心情や使用する場などで求められる機能と美しさとの調和、材料の性質や構造などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 目的や条件などを基にして、デザインの機能や効果、美しさについての理解を深める創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩の性質及びそれらが感情にもたらす効果や、使う人、場面、目的や条件、機能、用途などと造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら紙粘土の特性を生かし、見通しをもって創造的にクレイモデルやモックアップに表している。</p> | <p>「発」 使う人の心情や使用する場などで求められる機能などのイメージから主題を生成し、形や色彩など感情にもたらす効果や材料の性質や構造などと美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 機能や用途、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 主題を生み出し、材料の性質や構造などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 機能や用途、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 88～89 鑑賞/デザイン デザインとテクノロジー

| 目標 | | |
|---|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 構造、形体、素材などと求められる機能の關係に着目し、美しさや特徴、全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 使う人の立場や社会における美術の働きなどについて理解を深める創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、構造、形体、素材などと求められる機能の關係や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 使う人の立場や用いる場面、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態鑑」 工業製品の機能や使いやすさ、安全性、人や社会との関わり、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 90～91 鑑賞/デザイン 作家探究 アントニ・ガウディ

| 目標 | | |
|--|--|--|
| <p>知識及び技能に関する目標 ガウディのデザインに見られる自然の造形の特徴や美しさ、装飾などの効果、全体のイメージや作風などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 ガウディのデザインのよさや美しさ、自然の形体の生かし方などの特質、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 ガウディのデザインのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、自然の形体を生かした有機的な造形や装飾の特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 自然の有機的な形体を生かしたガウディの建築やデザイン、装飾などのよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な表現の工夫の関連、人々の関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態鑑」 美術や美術文化と豊かに関わり、ガウディの設計やデザインの特徴や効果に着目し、表現の意図や工夫、人々の関わりなどを読み取る鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 92～95 表現・鑑賞／映像メディア表現 写真で表す

| 目標 | | |
|---|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 写真表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じてカメラの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。</p> | <p>「発」 感じ取ったことや考えたことなどを基に、写真表現の特性を生かして主題を生成し、構図や光、シャッター速度などの写真表現の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 写真表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 写真表現の特性を生かして表す、表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 写真表現の特性を生かした写真の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 96～97 表現・鑑賞／映像メディア表現 アニメーションの手法

| 目標 | | |
|---|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、表現効果や伝達効果を工夫する。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 映像メディア機器などの特性を生かした表現方法などを創意工夫して表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 画面の構成や時間の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。</p> | <p>「発」 感じ取ったことや考えたことなどを基に、アニメーションによる表現の特性を生かして主題を生成し、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 アニメーションによる表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 アニメーションの鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 98～99 表現・鑑賞／映像メディア表現 映像で伝えるメッセージ

| 目標 | | |
|--|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 映像表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 画面の構成や時間などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。</p> | <p>「発」 伝える目的や機能などを基に、動画による映像表現の特性を生かして主題を生成し、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の効果と伝達の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態表」 動画による映像の表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 動画による映像の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |

教科書 p 100～101 鑑賞／映像メディア表現 映像に包まれて

| 目標 | | |
|---|--|---|
| <p>知識及び技能に関する目標 光や動きを生かした映像の効果、美しさや全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 映像表現の特質や表現効果、投影の工夫などを感じ取り、機器の特質を生かした創造的な工夫について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 映像表現のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p> | | |
| 評価規準 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>「知」 形や色彩、光、空間、動きなどの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、映像作品の印象や特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> | <p>「鑑」 映像表現の特質や投影による表現効果などを感じ取り、作者の心情や表現の意図と機器の特性を生かした創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>「態鑑」 映像表現の特質や投影による表現効果などを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> |